

龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例第19条及び同条例施行規則第11条の規定による「財政運営影響額」の公表資料

1. 事業概要

予算措置：龍ヶ崎市一般会計予算

【件名】佐貫駅東口駅前広場改修事業

金額：259,744千円

期間：平成27年度～平成32年度

2. 財政運営影響額

(1) 投資的経費

本事業における初期投資的費用は以下のとおりである。

年度	項目	金額（千円）	備考
27年度	委託料	7,944	
28年度	委託料	13,000	内10,200千円繰越
29年度	委託料	38,800	内38,800千円繰越
30年度			
31年度	工事請負費	100,000	
32年度	工事請負費	100,000	
合計		259,744	

※平成29年度実施中の基本設計において、概算工事費用を算出中。

※平成30年度実施予定の実施設計において、実施工程を検討。

(2) 経常的経費

当該施設における経常的経費は、「維持管理にかかる経常コスト」として10年目は4,320千円、20年目は4,773千円、30年目は5,271千円、30年間トータルでは141,614千円と試算した。

「償還金等」としては、10年目は8,396千円、18年目の3,006千円で償還が終了し、30年間トータルでは125,839千円と試算し

た。

「年別合計」の試算結果は、10年目は12,716千円、20年目は4,773千円、30年目は5,271千円、向こう30年間のトータルでは267,453千円である。

(3) 更新費用

「大規模改修・更新にかかるコスト」については、経年等による老朽化対応により、13年目に620千円、18年目に45,000千円、23年目に37,000千円、30年間トータルで82,620千円と試算した。

※試算結果については【別紙1】を参照のこと。

3. 事業の目的及び社会的便益等

現在、佐貫駅東口駅前広場は、朝夕の通勤通学のピーク時に送迎の自家用車、タクシー、バス等の車両が集中し、大変混雑している状況であり、特に駅入口付近は、歩行者動線と車両動線が交錯し、接触事故等の発生が懸念されている。本事業はそのような問題を解決し、安全で快適な駅前広場を実現するとともに、当市の玄関口に相応しい駅前広場の整備を行うものである。

当市は今後、多くの自治体同様に人口減少、少子高齢化に直面していく中で、交流人口・定住人口の維持増加につながる魅力ある都市づくりを推進していくことが喫緊の課題となっている。その中で、佐貫駅においては本市の玄関口にふさわしいにぎわいを創出し、都心への通勤圏であることの優位性を活かした都心に通えるまちづくりを進めることで、転入促進・転出抑制が見込まれる。